

新庁舎の機能に関する関係団体意見募集結果

1 調査の背景・目的

この報告書は、「玉野市本庁舎整備に関する基本的な方針」に記載する3つの基本的な考え方に基づいて、意見募集を実施した結果をまとめたものであり、現在策定中の基本計画の策定に役立てることを目的としています。

- ①安全・安心な庁舎
- ②利用者にやさしく、市民に親しまれる庁舎
- ③機能的・効率的で環境にやさしい庁舎

2 意見募集対象団体

分野	団体名
福祉	玉野市老人クラブ連合会
	玉野市障害者総合支援協議会
	玉野市社会福祉協議会
	玉野市民生委員児童委員協議会
	ボランティア連絡協議会
保健・医療	玉野市栄養改善協議会
	玉野市愛育委員協議会
社会教育	玉野市文化協会
	玉野市スポーツ協会
	玉野市PTA連合会
	玉野市女性団体連絡協議会
産業	玉野商工会議所
	玉野地区労働者福祉協議会
	玉野青年会議所
	玉野市観光協会
地区	玉野市コミュニティ協議会
移住	みなと・まちづくり機構たまの
SDGs	玉野SDGsみらいづくりセンター
防災・消防	Vネットおかやま
	玉野地区防火協会

3 募集期間

令和4年5月31日（火）～令和4年6月30日（木）

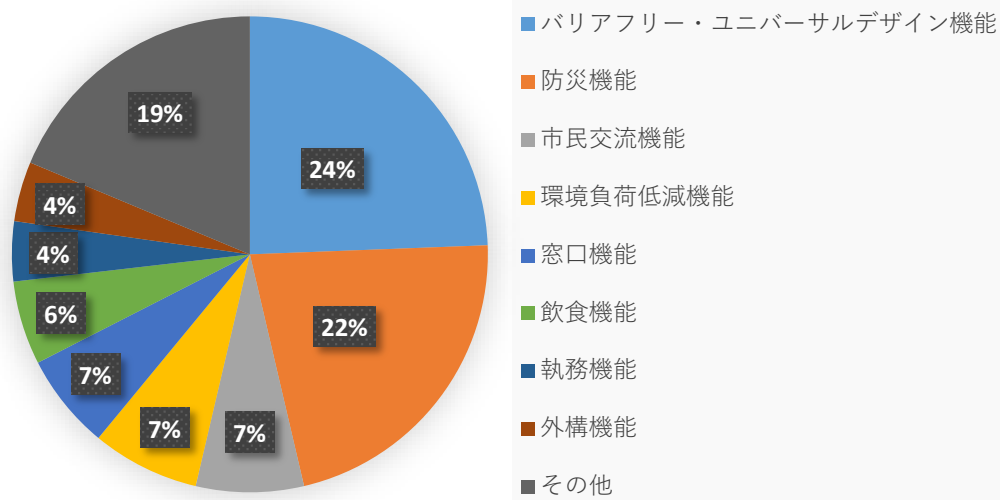
4 意見募集結果の概要

新庁舎に必要な機能を募集したところ、「バリアフリー・ユニバーサルデザイン機能」に関する意見が最も多く 24%、次いで「防災機能」（22%）、「市民交流機能」（7%）、「環境負荷低減機能」（7%）となりました。

5 意見募集結果詳細

（1）機能別意見数

バリアフリー・ユニバーサルデザイン機能	30件
防災機能	27件
市民交流機能	9件
環境負荷低減機能	9件
窓口機能	8件
飲食機能	7件
執務機能	5件
外構機能	5件
その他	23件



次ページからは、いただいた意見を取りまとめています。

(2) 団体意見内容

大分類	小分類	No	意見内容	団体 意見数	導入可否の事務局案		
					庁内 意見	導入 可否	説明
バリアフリー・ユニバーサルデザイン機能	サイン・レイアウト関係	1	分かりやすい案内板	2	○	○	わかりやすい案内板を整備します。
		2	どこに何があるのかわかりやすく教えてくれるインフォメーションブース（総合案内）	2	○	○	総合案内に求められる業務について改めて検討を行い設置します。
		3	庁舎内の配置が利用者にわかりやすいこと	1	○	○	シンプルな動線を基本として、わかりやすい部署配置とします。
		4	対面式の手続きがスムーズに行えるような無駄のない配置	1	○	○	効率的な手続きを行えるよう手続き動線を考慮して、わかりやすい配置とします。
	トイレ関係	5	多目的トイレ・多機能トイレ（オストメイト・LGBT・障害者・ファミリリー）	3	○	○	どのような多機能トイレが求められているか継続検討します。
		6	トイレを明るくする。	1	○	○	利用者がリラックスして使用できるように、壁の色や照明の色や明るさを考慮して整備します。
		7	洋式トイレを設置	1	○	○	整備します。
		8	女性トイレの充実	1	○	○	利用者が快適に使用できるトイレを整備します。
		9	エレベーター増設（ストレッチャー対応など）	2	△	△	安全で利用しやすいエレベーターの設置を検討します。
		10	1階～2階へのエスカレーター	1	×	×	エスカレーターは導入費用が高額となり、また、エレベーターで機能代替が可能なため、導入は見合わせます。
	障害・高齢対応	11	玄関のバリアフリー	1	○	○	段差は最小限にとどめ、移動に困らない庁舎を整備します。
		12	高齢者・障害者が雨でも滑りにくい床材	1	△	△	すべての人が利用しやすい施設づくりを目指します。
		13	授乳室	3	○	○	乳児連れの方が安心して利用できる授乳室を整備します。
		14	おむつ替えスペース	2	○	○	男性女性ともにおむつ替え利用が可能なトイレを整備します。
	子育て関係	15	キッズコーナー	2	○	○	子連れの方が落ち着いて行政手続きができるようキッズスペースを整備します。
		16	託児スペース	1	△	△	ベビーシッターの設置等は、費用対効果を含め継続した検討が必要と考えます。
		17	ベビーカーで移動できるスペース	1	○	○	ベビーカーを利用する方々が移動に不便を感じない空間になるよう検討を進めます。
	その他	18	ユニバーサルデザインに基づいた、あらゆる人が安心してアクセスできる庁舎	2	○	○	すべての人が利用しやすい施設づくりを目指します。
		19	誰でもレイアウト変更が容易な什器	1	○	○	汎用性の高い什器は、フェーズフリーの視点からも重要であると考えています。
20		バリアフリーや女性に優しい機能	1	○	○	どなたでも利用しやすい庁舎を整備します。	

大分類	小分類	No	意見内容	団体 意見数	導入可否		説明	
					庁内 意見	導入 可否		
防災機能	災害対策の拠点	21	災害時の拠点となる新庁舎 (高潮・津波・地震・火災・盗難・ITセキュリティ・テロ等)	5	○	○	想定されうる災害が発生しても、災害対策拠点として機能維持できる庁舎を整備します。	
		22	ヘリポート新設	2	△	△	近隣のヘリコプター離発着場との連携を含め検討を継続します。	
		23	毎年、定期的な防災訓練	2	○	○	現在でも実施しており、引続き精度を高めて実施します。	
		24	空飛ぶクルマの離発着場	1	×	×	現時点ではどのような要求水準になるかが明確ではないため、新庁舎整備の中では導入しません。	
	停電対策	25	自家発電装置の設置	3	○	○	災害対策の拠点としての機能を維持するのに必要と考えるため、要件を検討し、整備します。	
		26	太陽光発電	1	△	△	費用対効果を含め、継続した検討が必要と考えます。	
	通信環境	27	大規模災害時に機能する情報発信の拠点	2	○	○	発災時でも通信環境が途絶えることがないように整備します。	
		28	本庁舎・消防本部～地域の指定避難場所～公民館(市民センター)間の通信を確保	1	△	△	どのような通信手段が適しているか継続して検討が必要と考えます。	
	地震対策	29	耐震性の確保	2	○	○	災害拠点としての機能維持は重要な検討項目と捉えています。免震の庁舎を第一に検討を進めています。	
		30	耐水	2	○	○	津波、高潮のどちらに対しても有効な対策を実施します。	
	備蓄関係	31	災害への備え(備蓄品の充実)	2	○	○	発災後、災害対策の拠点としての機能を維持するのに必要な災害対策用品を備蓄します。	
		32	避難場所	1	○	○	緊急時には一時的に避難できる場所を整備します。	
	その他	33	雨水の活用	2	○	○	発災時に雑用水として活用できるよう整備を検討します。	
		34	地下シェルターになる備蓄倉庫	1	×	×	シェルの整備については、別に検討を要するものと考えます。	
	市民交流機能	貸会議室	35	市民に開放できる会議室(多目的ルーム)	2	○	○	多目的に活用できるスペースを整備します。
			36	市議会の議場を市民に開放して常時多目的に活用できる仕組み	1	△	△	他自治体の事例研究に加え、議会側と協議して決定しますが、現時点では、多目的利用は想定していません。
		交流スペース	37	待ち時間を有効に使える憩いのスペースの確保(市民交流のハブ機能)	2	○	○	多目的に活用できるスペースを整備します。
			38	玉野市の魅力を発信するスペースの設置	1	○	○	市民ギャラリー用のスペースを整備します。
		その他	39	障害者の物販スペース	1	△	△	市民交流エリアの在り方の検討の中で整理を行うべき項目と考えます。
			40	無料Wifi	2	○	○	現在も導入しており、継続して使用できるよう整備します。

大分類	小分類	No	意見内容	団体 意見数	導入可否		説明	
					庁内 意見	導入 可否		
環境負荷低減機能	発電システム	41	太陽光発電の設置	3		△	費用対効果を含め、継続した検討が必要と考えます。	
		42	ZEBを取り入れたゼロ・エネルギー庁舎	1		△	環境への配慮は重要な観点のため、ZEB Readyの取得を目指します。	
		43	雨水などの自然エネルギーの活用	1	○	△	費用対効果を含め、継続した検討が必要と考えます。	
	44	新庁舎の屋上緑化（ヒートアイランド現象などを緩和する効果、建物の断熱効果）	1		×	高密度化した市街地では緑化スペースが限られているため、屋上緑化が有効な空間活用とされていますが、本市では地表面部に緑化スペースの確保が可能と考えています。		
	45	蓄電池の設置	1		△	費用対効果を含め、継続した検討が必要と考えます。		
	46	シンブルでコンパクトな省エネ庁舎	1		○	効率性を重視したシンブルでコンパクトな庁舎を整備します。また、ZEB Readyの取得を目指します。		
	47	大きな窓で自然光の光を利用する	1		△	庁舎の維持管理費用等を考慮して、検討を継続します。		
	窓口機能	プライバシー	48	それぞれの窓口でも仕切りをするなどのプライバシーシールドに気を配る。	2		○	プライバシーへの配慮は重要と考えています。どのような窓口がよいか継続して検討を行います。
			49	個人的な相談用にプライバシーシールドを確保した面談スペース	1		○	プライバシーに配慮した相談室を設置します。
	飲食機能	ICT	50	ネット環境（オンライン手続き）の充実	2	○	○	どのような手続きがオンラインに向いているか継続検討します。
51			ワンストップ窓口	2		△	利便性・効率性の高い窓口の整備に向けて継続検討します。	
その他		52	対面対応時に職員が座るスツール（市民を見下ろすことのないように）	1		△	各窓口の業務内容に合わせ、市民の方が快適に行政サービスを受けられるような仕様の導入に努めます。	
		53	おしゃべり・健康などの特色を持った食堂	3		×	設置面積の確保、厨房機器及び光熱水費の負担からコストが高いことや、現庁舎整備時と比べ近隣に飲食店等が複数営業しているため、整備は不要と考えます。	
54		カフェ	2		×	設置面積の確保、厨房機器及び光熱水費の負担からコストが高いことや、現庁舎整備時と比べ近隣に飲食店等が複数営業しているため、整備は不要と考えます。		
55		ビアガーデン（夏季のみ）	1		△	他自治体では広場を活用して実施している例があると認識しています。市民交流機能として、将来的な検討項目になると考えます。		
56		給水コーナード（SDGsの観点からマイボトルで）	1		△	費用対効果を含め、継続した検討が必要と考えます。		
執務機能		オープンオフィス	57	窓口部門が仕切り壁で囲われないオープンな事務所	2	○	○	見通しが良く、風通しが良い執務空間を整備します。
			58	透明感・解放感のある会議室（ガラス張りなど）	1		△	遮音、防音性能や費用対効果の観点から検討を継続します。
		59	通路に段ボール箱を積まなくてよいような収納場所	1	○	○	文書・物品の整理削減に努め、適切な収納ができればよいと考えます。	
外構機能	駐車場	60	研修・会議室（30名以上に対応するもの）	1	○	○	多様な利用用途に対応できる会議室を整備します。	
		61	駐車場の区画の拡張	4		○	現庁舎の駐車区画は狭小であるため、1台当たりの広さを見直します。	
	62	玄関口にバス停設置	1		△	どのような配置が望ましいか引き続き検討します。		

(3) 機能以外に関する団体意見一覧

分類	No	意見内容	団体 意見数	市の考え方	
公共施設整備方針	1	市民会館（ホール）	4	市民の文化、芸術の拠点となるホールの整備は、重要な検討項目であると認識をしていますが、他の大型事業の進捗や、将来的な財政負担を見極めながら検討を進めていく必要があると考えております。	
	2	児童館	1	児童館を庁舎と複合化する利点を整理した上で継続した検討が必要と考えます。	
	建設地	3	自然災害に合わないところに建設する。	1	新たな本庁舎の整備場所については、利便性やまちづくりとの整合性、早期性や実現性、必要な規模を確保できる敷地や事業費などを総合的に勘案した結果、現本庁舎敷地内に整備することとしますが、浸水等に対応した設計とすることで庁舎の機能を維持します。また、災害時には、高台に移転した消防庁舎と連携し、機能を補完します。
		4	設置場所は議論済みかもしれないが、現在のエリアがベスト	1	市としても地方自治法第4条第2項の規定を踏まえ、中心市街地に位置する現本庁舎敷地が適地と考えています。
分散化	5	へりの離着陸が可能なところに建ててほしい。	1	新たな本庁舎の整備場所については、利便性やまちづくりとの整合性、早期性や実現性、必要な規模を確保できる敷地や事業費などを総合的に勘案した結果、現本庁舎敷地内に整備することとしますが、近隣のヘリコプター離発着場との連携等、継続して検討する必要があると考えます。	
	6	庁舎機能の分散化（市民センターなど）	2	費用対効果や市民センターの位置付けと併せて継続した検討が必要と考えます。	
	7	支所機能を充実し、支所と連動した庁舎	1	どのような形での連動、連携が望ましいか、引き続き継続検討とします。	
	人材	8	運営する人（ソフト）の充実も極めて重要	1	優秀な人材確保と人材育成に努めます。
		9	玉野市を良くしようとする意欲のある人を評価するシステム	1	意欲のある職員が評価される環境づくりに努めます。
集約化	10	一か所で機能する新庁舎	1	防災拠点としての機能、また、市民交流の拠点としての機能など、複数の役割を持ったせながら、出先機関との連携に努めます。	
	11	健康増進課（母子関係手続の集約）	1	将来的な集約化は必要と考えていますが、今回の新庁舎の整備時点での集約化は検討いたしません。	

分類	No	意見内容	団体 意見数	市の考え方
通信環境	12	地域の情報発信拠点となるエフエム局	1	情報発信拠点としてエフエム局の整備が必要かどうか継続した検討が必要と考えます。
公共交通	13	JRやバスの時刻表案内	1	利用者の方の利便性を考慮した案内手法を検討します。
構造	14	木造建築（出雲ドームを参考に）	1	費用対効果を含め、継続した検討が必要と考えます。
財政負担	15	シンプルでコンパクト	1	効率性を重視したシンプルでコンパクトな庁舎とします。また、維持管理にすぐれた構造や材料の導入などにより、施設の長寿命化やライフサイクルコストの縮減に配慮した庁舎とします。
その他	16	眺めのいい応接室・会議室	1	旧消防庁舎解体後を見据えた整備を行います。
	17	働く世代が利用しやすい開庁時間の設定や開庁時間の周知	1	働く方々にとっても利用しやすい庁舎となるよう、今後も検討を継続します。
	18	月1回で各課持ち回りの市民向け情報提供	1	出前講座等の活用により、積極的な情報提供を行います。
	19	ATMの設置	1	近隣に各種の金融機関が所在していることから、新庁舎内への整備はいたしません。

新庁舎の機能に関するアンケートにご協力ください。

1 記入者情報(必ずご記入ください。)

団体名	
氏名 (記入者)	

2 同封の「本庁舎整備に関する基本的な方針(P2~3)」に記載する次の①~③の基本的な考え方に基づいて新庁舎を整備するにあたって、これからの玉野市にどのような機能や設備を備えた新庁舎が求められているのか、貴団体が必要と思われる機能を記入してください。

- ① 「安全・安心な庁舎」(例) 非常用発電機、備蓄倉庫の設置
- ② 「利用者にやさしく、市民に親しまれる庁舎」(例) プライバシーに配慮した相談室、授乳室の設置
- ③ 「機能的・効率的で環境にやさしい庁舎」(例) 太陽光発電システムの設置

【意見記入欄】

考え方の番号【 】	
必要な機能	
理由	

考え方の番号【 】	
必要な機能	
理由	

3 本庁舎に必要な機能に関して市と対話(7月~8月頃を予定)を希望しますか。

希望する ・ 希望しない

※ご記入いただいた機能すべての実現を保証するものではありません。
※対話は感染対策のため各団体5名を上限とします。

ご記入いただいたアンケート用紙は、返信用封筒に入れてご返送ください。
ご協力いただきありがとうございました。



市役所 本庁舎の建替について

ご意見を
お聞かせください



昭和 19 年 11 月完成 (旧)市庁舎



歩きだそう、未来へ！

昭和 41 年頃 完成間近の(現)市庁舎

新庁舎の機能に関するアンケートにご協力ください

【アンケートの目的】

このアンケートは、「市民の安全を守り、人と環境にやさしく、市民に親しまれる庁舎」の実現のため、これからの玉野市にどのような機能や設備を備えた新庁舎が求められているのか、皆様のご意見を伺うために実施するものです。

●今年度は、老朽化の進行に加えて耐震性が備わっていない市役所を、市民の安全安心を守る施設として、**再始動**する為の基本計画の策定や地質調査などを行います。

※お願い

【記入後は、6月30日(木)必着で同封の返信用封筒に入れて、ご返送ください】

新庁舎整備に関する意見交換会 会議概要

1 概要

開催日時	令和4年9月28日(水) 第1部 13:30~14:30 第2部 15:30~16:30 ^{※1}
開催場所	玉野市役所本庁舎3階特別会議室
参加団体 ^{※2}	玉野市老人クラブ連合会 玉野市障害者総合支援協議会 玉野市民生委員児童委員協議会 玉野市ボランティア連絡協議会 玉野市PTA連合会 玉野市女性団体連絡協議会 玉野市コミュニティ協議会 みなと・まちづくり機構たまの 玉野SDGsみらいづくりセンター Vネットおかやま
会議次第	1 開会 2 市長挨拶 3 検討状況説明 4 意見交換 5 閉会

※1 感染症対策のため、各団体の参加上限を2名とし、2部(事務局の説明内容は同じ)に分けての開催とした。

※2 新庁舎の機能に関する意見募集に協力いただいた団体のうち、市との対話を希望した団体が参加。

2 協議内容

(1) 第1部

No	質問・意見の概要 ^{※3}	市の考え方
1	新庁舎の想定規模と津波対策の概要を教えて欲しい。	できるだけコンパクトで過大にならない設計をしていきたい。津波に対しては盛り土、高潮に対しては腰壁と防水板での止水を考えている。また、市民向けの一時避難スペースも確保する。
2	予算を考えるのも重要だが、建てた後に交換ができない部分は、判断してしっかりと予算を確保すること。	必要な部分にはしっかりと予算を充てて検討を進めていきたい。
3	緊急防災・減災事業債を活用するには、どのような制約があるのか。	本市の場合、浸水区域外への移転と同様の効果が得られることや令和7年度までに竣工することが必要。引続き国・県と協議を進めていく。
4	庁舎は市のシンボルにもなるが、どのような選定方法を考えているのか。	整備方法としては、DB方式が最有力であり、プロポーザル方式で優秀な事業者を選定したいと考えている。
5	令和7年度に完成するということは対外的に公表していいことなのか。	そこを目指して検討を進めている。
その他意見		
6	<ul style="list-style-type: none">・医療的ケアを必要とするコンセン트의整備を検討して欲しい。・瀬戸内国際芸術祭に絡めて庁舎もアートにして発信したらよい。・ZEB readyではなく、ZEBでなくてはならないのではないか。電力の供給拠	

<ul style="list-style-type: none"> 点になって欲しい。 ・施工方法（RC・S・CLT など）や庁舎の階数は制約せず自由に提案を求めて欲しい。 ・その日の行事がわかるデジタルサイネージ（ディスプレイを設置して情報を発信するシステム）を設置して欲しい。 ・岡谷市は都市交流をしている姉妹都市の旗が飾ってあるスペースがある。
--

(2) 第2部

No	質問・意見の概要 ^{※3}	市の考え方
1	現庁舎敷地で建替えた場合、緊急時に職員は参集できるのか。	深山にある消防本部に臨時的な対策本部を設け、水が引くまでの拠点とする。
2	子どもの手続きは集約化して欲しい。庁舎整備のタイミングで、すこやかセンターに配置する課の入れ替えを考えてはどうか。	継続して調整が必要と考えている。
3	有事の際には消防庁舎が拠点になるのか。事業課職員は深山に参集するのか。すこやかセンターに事業課が入るという方向性を考えてみてはよい。	災害時は柔軟な連携が重要になってくる。発災の時間帯、災害の種類など、業務継続計画（BCP）の中で場合分けして考えていきたい。
4	消防庁舎は取り壊して新庁舎敷地として使用したほうが使いやすいのではないか。	除却にも億単位の費用がかかる。暫定的ではあるが、倉庫、車庫として使用し、適切なタイミングで取り壊したい。
5	令和7年度に竣工とすると設計図はいつ出てくるのか。	令和4年度に基本計画を策定し、来年度から設計に入り、作成していく。

6	新庁舎整備の基本的な考え方の中の「市民に親しまれる」というのはどういう意味か。	「親しみやすい」の逆が暗い、狭いだと思う。開かれていて、明るく、わかりやすい庁舎を目指したい。
7	瀬戸内国際芸術祭があるため、デザインは重要だと思う。インスタ映えするようなスポットも欲しい。	インスタ映えするスポットは大切だと認識している。
10	雑用水としての雨水の活用はどのような内容なのか。	飲料水としては使用できないが、トイレに流す水として使用する予定。
11	バリアフリーやユニバーサルデザインに重点を置くと、執務室の面積が狭くなる。議会や教育委員会を別棟にして執務スペースの確保も大切だと思う。	費用面から見て別棟での整備は難しいと考えている。部長室の廃止などスペースの効率的な使用を考えていきたい。
その他意見		
<ul style="list-style-type: none"> ・職員、市民が使いやすいように外観重視ではなく、機能性重視で考えて欲しい。 ・平常時の利便性と緊急時の防災機能のバランスが重要だと感じている。 		

※3 意見募集の内容と重ならない内容を主に記載。

3 会場風景

市長挨拶



意見交換

